

GALE PRIMARY SOURCES

PUBLIC HEALTH ARCHIVES

20 世紀におけるアメリカの医療化のプロセスを明らかにする資料を電子化

Public Health Archives

Public Health in Modern America, 1890-1970

Public Health Archives

Public Health in Modern America

19世紀末から20世紀後半までに発行されたアメリカ医療関係の資料約6,800点を電子化

アメリカは、世界最高水準の医療技術を持ち、世界最高水準の医療教育を提供する一方で、国民健康保険という制度が実現を見ていない先進国でも特異な国です。健康保険は近年のオバマケアに見られるように、その是非を巡り激しい政策論争が繰り返されていますが、この問題は20世紀初頭まで遡ります。教育や福祉などの他の領域と同様、それまで個人や狭いコミュニティの問題とみなされてきた医療は、20世紀になると国家が関心を払うべきとの考えが広まります。現在では自明のものと見なされる公衆衛生もパブリックなものとなされたのは、諸々の領域に国家や行政が手を差し伸べるようになった20世紀のことです。アメリカではニューディール政策がこの潮流を推進する役割を担い、医療や社会保障の分野で様々な法整備がなされましたが、国民健康保険制度は実現が見送られました。その後も国民皆保険の実現に向けて改革が試みられますが、実現は阻まれてきました。ここには連邦政府の介入を警戒する建国以来の政治理念、連邦政府、州政府、政党、アメリカ医師会、病院、学術団体、企業、労働組合、営利保険会社、非営利保険提供者等、様々な団体、関係者の利害対立など、政治的、社会的、イデオロギー的な集団力学が働いてきました。アメリカの医療の歴史を論じることは、様々な製薬品が開発され、医療技術が進歩した歴史を進歩史観によって単線的に描くことに止まらず、医療を巡る利害対立、

その利害対立の背景をなす国家や政府の役割を巡る理念やイデオロギーの対立に分け入り、現在のアメリカの医療制度が形成されてきた複雑なプロセスを明らかにする試みです。アメリカ医療史、公衆衛生史において人文社会学や歴史学のアプローチが求められる所以です。

本アーカイブは、19世紀末から20世紀後半に至る時期に発行されたアメリカ医療関係の資料約6,800点を電子化し全文検索を実現したものです。原資料はニューヨーク医学アカデミーと米国国立公文書館の所蔵のものです。ニューヨーク医学アカデミーは医療と公衆衛生関係資料の所蔵機関としては質量ともに世界屈指の水準を誇ります。医療と人文学と芸術を架橋するとの方針の下で蒐集されるその資料は、狭義の医療史、公衆衛生史だけでなく、広く人文社会学や歴史研究者にとって垂涎の資料群です。本アーカイブにはパンフレットが多数収録されています。革命や改革の時代において人々が自らの主張の正当性を訴える最良の手段はいつの時代でもパンフレットです。医療に関わる団体や人々がどのようなロジックやレトリックを用いて自らの正当性を訴えたのか、本アーカイブからはその生の声を聞き取ることができます。アメリカの医療というアクチュアルな問題を歴史的に考察するための資料として、また日本をはじめ他の国々の医療の現状を相対化するための資料として、本アーカイブをお薦めします。

収録コレクション

The Library of Social and Economic Aspects of Medicine from Michael M. Davis

米国の医療経済、医療政策研究のバイオニア、マイケル・マークス・デイヴィス(1879-1971)の寄贈になるコレクション。若い時から社会問題に関心をもち、移民や貧困層への支援活動に携わっていたデイヴィスは、ボストン診療所の所長に就任、医療制度の体系的な研究に打ち込みました。その後、ジュリアス・ローゼンウォルド基金の医療部長として診療制の研究に従事、この研究が後に前払い診療方式のブルークロス制の創設に繋がりました。また、医療経済学研究委員会を創設し、医療経済学の各方面の研究助成にリーダーシップを発揮する傍ら、フランクリン・ローズヴェルト政権の社会保障法法案、国民健康保険の実現を訴えるトルーマン大統領の教書の起草など、政策立案にも積極的に関与しました。デイヴィスが生涯に蒐集した研究資料は1962年ニューヨーク医学アカデミーに寄贈されました。40万ページに及ぶコレクションは米国公衆衛生関係資料としては有数のコレクションとみなされています。コレクションは「医療経済学と医療社会学」、「合衆国の医療制度」、「法制度と法的側面」、「団体」、「諸外国の医療制度」、「人物」、「付録」の7部で構成されています。

Selected Publications on Public Health from the New York Academy of Medicine

ニューヨーク医学アカデミーが所蔵するパンフレットコレクションから公衆衛生関係のパンフレット約2,200点を精選。健康保険、疾病、精神衛生、喫煙・アルコール依存・薬物依存、性とセクシュアリティなど広範囲の主題を扱います。

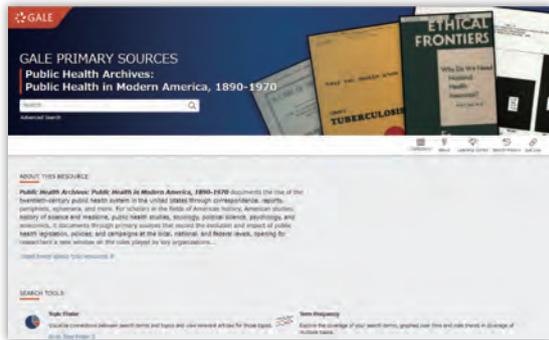
The Committee on Public Health of the New York Academy of Medicine: Correspondence, Reports, and Documents

ニューヨーク医学アカデミー公衆衛生委員会は1911年の創設以来、ニューヨーク市衛生局と連携し、諮問機関として同市の保健行政において重要な役割を果たしてきました。公衆衛生委員会の活動内容は、委員会議事録、委員により執筆された書籍、パンフレット等に反映されています。約2,300点を収録する本コレクションは、健康保険、精神衛生、優生学、労災保険、コミュニティ医療、住宅問題、グループ医療、高齢者医療、リハビリテーション、妊娠中絶、薬物使用、栄養、性犯罪、監獄、売春、退役軍人、軍事衛生など広範囲の主題に関する資料を収録します。

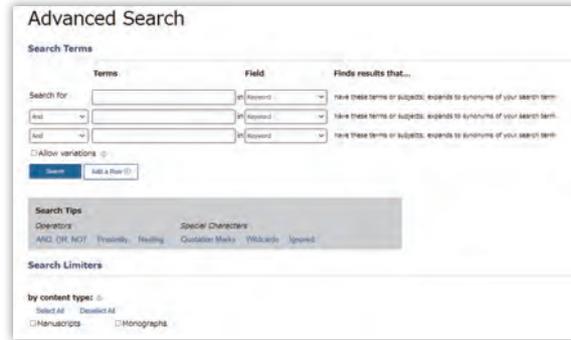
Records of the Children's Bureau, 1912-1969

1912年タフト大統領により創設された児童局は、児童福祉に関わる連邦政府初の省庁として、母子保健、児童労働、孤児、少年犯罪、少年司法、家族の生活保障、児童虐待、養子制度など、児童に関わる諸問題に取り組んできました。米国国立公文書館が所蔵する本コレクションは、1936年から1942年までの各州およびプエルトリコにおける母子保健に関する報告書、各州の報告書の他、母子の疾病や死、疾病の予防・治療、法制度、保健政策等に関する報告書、論文、書簡(収録文書数合計約1,700点)収録します。

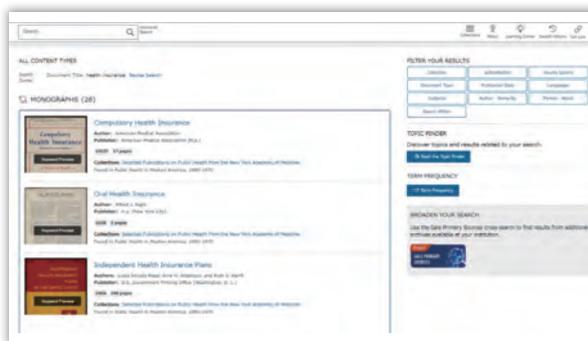
ca, 1890-1970



トップページ



詳細検索(検索範囲の指定・掛け合わせ検索・ファジー検索)



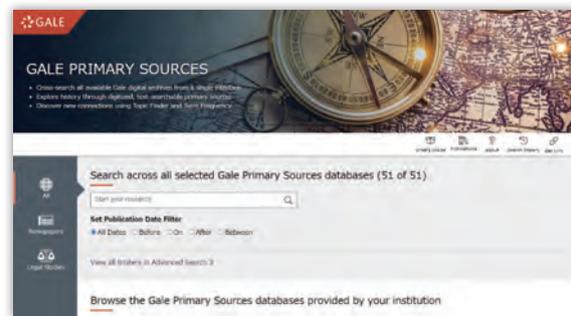
検索結果ページ



一字一句までフルテキスト検索。検索語はハイライト表示



別契約のGale Digital Scholar Labでは様々なテキストマイニングツールをご利用になれます。この例は健康保険関係の文書を対象にしたNグラム頻度の解析結果をワードクラウドで表示したものです。



Galeの統合検索プラットフォームGale Primary Sourcesでは、追加コストなしで導入済みのGaleの買切データベースとの横断検索ができます。

データベースの概要

- ◆ 収録資料：書籍パンフレット等約6,800点(総ページ数約56万ページ)
- ◆ 収録期間：1890年代から1970年代まで(一部その前後の刊行物も含まれます)
- ◆ 原資料と所蔵機関：
 - ・ The Library of Social and Economic Aspects of Medicine from Michael M. Davis(ニューヨーク医学アカデミー)
 - ・ Selected Publications on Public Health from the New York Academy of Medicine(同上)
 - ・ The Committee on Public Health of the New York Academy of Medicine: Correspondence, Reports, and Documents(同上)
 - ・ Records of the Children's Bureau, 1912-1969(米国国立公文書館)
- ◆ 機能：ページ送り、画面拡大縮小、全画面表示、輝度コントラスト調整のビューワ機能の他、印刷、PDFファイルのダウンロード、OCRテキストのダウンロード、書誌自動生成、書誌情報のエクスポート、メール送信、Google/Microsoftログインとクラウド連携を実装

The Library of Social and Economic Aspects of Medicine from Michael M. Davis

(マイケル・M.デヴィス寄贈医療の社会的経済的側面に関するコレクション)

※以下のタイトルは刊行物名ではなく、ファイル名です。各ファイルの中に各種パンフレットが集められています。

《収録ファイル名の一部》

シリーズ1：医療経済学と医療社会学

- 『医療費：パンフレット集』[1927年～1935年]
- 『医療費委員会：ベンジャミン・グルーエンバーグ博士』[1932年]
- 『医療費委員会：フォローアッププログラム —— C.E.ウインスロウ』[1932年～1933年]
- 『医療費委員会：フォローアッププログラム —— 一般』[1932年～1933年]
- 『医療費委員会：医療費パンフレット集』[1947年～1950年]
- 『医療費委員会：最終報告書 —— 書簡』[1932年～1933年]
- 『米国における所得と支出：健康と経済的地位』[1935年～1953年]
- 『米国における所得と支出：支出データ』[1936年～1962年]
- 『米国における所得と支出：所得統計』[1937年～1952年]
- 『健康保険：一般：看護と健康保険』[1964年]
- 『健康保険：一般：健康保険 —— 前払い計画』[1927年～1954年]
- 『健康保険：一般：健康保険』[1938年～1959年]
- 『健康保険：一般：パンフレット集』[1933年～1954年]
- 『健康保険：一般：医療専門職と任意型保険』[1946年～1965年]
- 『健康保険：一般：任意型医療保険』[1938年～1965年]
- 『健康保険：一般：健康保険データ』[1962年～1964年]
- 『社会保障：パンフレット集』[1946年～1947年]
- 『社会保障：社会保障制度の分析：パンフレット集』[1953年～1954年]
- 『社会保障：合衆国における政府保険：研究』[1950年]
- 『社会保障(刊行パンフレット集)』[1916年～1952年]
- 『社会保障：経済安全保障委員会』[1934年～1936年]
- 『社会保障：経済安全保障委員会報告書草案集』[1934年～1936年]
- 『社会保障：経済安全保障委員会：覚書・書簡・報告書集』[1935年～1936年]
- 『社会保障：1949年社会保障法修正』[1949年]
- 『社会保障：社会保障法制に関する市民会議：覚書・報告書集』[1954年]
- 『簡易保険：簡易健康保険計画 —— 一般：報告書・パンフレット集』[1926年～1952年]
- 『ディーン・クラーク報告 —— 健康保険計画：ディーン・クラーク報告 —— 任意型健康保険計画』[1948年～1951年]
- 『ディーン・クラーク報告 —— 健康保険計画：ディーン・クラーク病院演説』[1951年]
- 『ディーン・クラーク報告 —— 健康保険計画：独立系組合』[1950年]
- 『ディーン・クラーク報告 —— 健康保険計画：アメリカ医師会』[1950年～1951年]
- 『ブルークロス・ブルーシールド：ブルークロス公報集』[1940年～1949年]
- 『ブルークロス・ブルーシールド：ブルークロス初期の歴史』[1943年～1960年]
- 『ブルークロス・ブルーシールド：病院へのブルークロスの支払い』[1939年～1963年]
- 『ブルークロス・ブルーシールド：ブルークロス：統計』[1937年～1948年]
- 『ブルークロス・ブルーシールド：ブルークロス：ブルークロス会議 —— 病院問題』[1948年]
- 『ブルークロス・ブルーシールド：ブルークロス州計画：ブルークロス公聴会 —— ピッツバーグ』[1957年～1958年]
- 『ブルークロス・ブルーシールド：ブルークロス州計画：フィラデルフィア連合病院サービス』[1936年～1957年]
- 『ブルークロス・ブルーシールド：ブルークロス州計画：ミシガン州ブルークロス』[1956年～1957年]
- 『ブルークロス・ブルーシールド：ブルークロス州計画：ニューヨーク州ブルークロス』[1957年～1958年]
- 『ブルークロス・ブルーシールド：州保険によるブルークロスの発展：ペンシルヴァニア州』[1958年]
- 『医学会：マサチューセッツ医療サービス：書簡集』[1945年～1948年]
- 『保険会社：保険会社が提供する保険の研究』[1951年]

- 『保険会社：営利保険会社健康保険パンフレット集』[1948年～1954年]
 - 『保険会社 —— 健康保険計画：報告書・保険ステートメント・パンフレット・新聞記事集』[1941年～1953年]
 - 『支払能力：パンフレット・記事集』[1934年～1945年]
 - 『生活協同組合：生活協同組合医療局』[1933年～1940年]
 - 『生活協同組合：アメリカグループ保健協会：グループ健康計画の法的権利』[1964年]
 - 『生活協同組合：アメリカグループ保健協会 —— 一般』[1963年～1966年]
 - 『生活協同組合：アメリカグループ保健協会』[1964年～1965年]
 - 『労働 —— 健康保険計画に関する一般データ』[刊行年不明]
 - 『労働 —— 健康保険計画に関する一般データ：ニューヨーク州保健福祉計画：保険計画』[1949年～1954年]
 - 『労働 —— 健康保険計画に関する一般データ：AFL —— CIO決議：保健福祉：報告書・会議録』[1963年～1964年]
 - 『労働 —— 健康保険計画に関する一般データ：健康保険に対する労働側の態度』[1944年～1966年]
 - 『全国健康保険：ニュースレター・記事・パンフレット集』[1944年～1950年]
 - 『全国健康保険：医療経済学 —— 記事切抜き』[1944年～1953年]
 - 『全国健康保険：医療経済学パンフレット集』[1947年～1949年]
 - 『全国健康保険：拡大ニューヨーク健康保険計画』[1938年～1963年]
 - 『全国健康保険：健康保険に関する大統領選候補者の主張：記事・書簡集』[1948年]
 - 『全国健康保険：パンフレット集』[1931年～1950年]
 - 『全国健康保険：健康保険に好意的な新聞：記事切抜き』[1948年～1949年]
 - 『包括的健康保険前払い計画：ニューヨーク市グループ健康保険』[1945年～1962年]
 - 『包括的健康保険前払い計画：団体交渉における医療給付 —— パンフレット集』[1945年～1953年]
 - 『全国保健計画による健康安全保障』[刊行年不明]
 - 『医療社会学：医療 —— 一般：報告書・記事・パンフレット集』[1942年～1964年]
 - 『医療社会学：予防医療：パンフレット集』[1929年～1933年]
 - 『医療社会学：受診：パンフレット集』[1938年～1956年]
 - 『医療社会学：ブルークロス関係書簡：書簡・パンフレット集』[1958年]
 - 『医療社会学：医療 —— 分配：パンフレット・記事集』[1942年]
 - 『医療社会学：医療問題会議：パンフレット集』[1944年]
 - 『医療社会学：老人ホーム：研究』[1959年]
 - 『医療社会学：老人ホーム：パンフレット集』[1954年～1965年]
 - 『医療実務の潮流』[1929～1965年]
- ほか合計340件のファイルを収録

シリーズ2：合衆国における医療

- 『合衆国における健康の現状：慢性疾患 —— 慢性疾患関係パンフレット・報告書集』[1929年～1947年]
- 『合衆国における健康の現状：障害』[1948年～1965年]
- 『合衆国における健康の現状：合衆国における死亡率』[1947年～1954年]
- 『合衆国における健康の現状：精神衛生』[1941年～1963年]
- 『合衆国における健康の現状：青少年』[1941年～1963年]
- 『合衆国における健康の現状：児童の健康：パンフレット集』[1949年～1955年]
- 『合衆国における健康の現状：エスキモー』[1962年～1964年]
- 『合衆国における健康の現状：健康上の危険』[1959年～1965年]
- 『合衆国における健康の現状：児童の健康』[1942年～1949年]
- 『合衆国における健康の現状：栄養』[1902年～1965年]

- 『合衆国における健康の現状：産業別事故率』[1939年～1965年]
- 『合衆国における健康の現状：窮乏』[1949年～1955年]
- 『戦時期の健康：医者への不足』[1943年]
- 『戦時期の健康：交戦地域：米国防務衛生局 研究と覚書』[1942年～1951年]
- 『戦時期の健康：パンフレット・報告書集』[1941年～1945年]
- 『農村の現状：農業労働の窮乏』[1955年]
- 『農村の健康の現状——一般：農村の医療』[1945年～1954年]
- 『農村の健康の現状——一般：農村健康保険計画』[1951年～1956年]
- 『農村の健康の現状——一般：農村の保健と全国健康保険』[1948年～1950年]
- 『農村経済の現状：社会保障』[1944年～1949年]
- 『農村経済の現状：移民労働者』[1940年～1965年]
- 『農業保障局：農務省——年報』[1939年～1940年]
- 『農業保障局：パンフレット・報告書集』[1942年～1943年]
- 『農業保障局：農業労働者医療計画』[1941年～1947年]
- 『医療関係者：一般報告』[1951年～1954年]
- 『医師：医療における差別』[1943年～1963年]
- 『医師：医師の分布と供給——統計』[1930年～1964年]
- 『医師：女性——医師』[1945年～1946年]
- 『医師：倫理』[1936年～1965年]
- 『医学教育：医学教育に関する報告』[1937年～1966年]
- 『医学教育：病院における医学教育』[1962年～1965年]
- 『歯科医：歯科と全国健康保険』[1939年～1950年]
- 『歯科医：アメリカ歯科医師協会』[1947年～1952年]
- 『医療系ソーシャルワーカー』[1949年～1963年]
- 『看護師：公衆衛生看護師』[1939年～1965年]
- 『看護師：看護師教育』[1935年～1965年]
- 『看護師の不足』[1947年～1963年]
- 『病院：労使関係』[1963年～1964年]
- 『病院：病院医療の質』[1963年～1965年]
- 『病院：中所得者患者への医療サービス』[1930年～1932年]
- 『病院：貧困層への医療』[1935年～1949年]
- 『病院：報告書・パンフレット集』[1920年～1969年]
- 『病院財政』[1929年～1963年]
- 『アメリカ病院協会——一般報告書・パンフレット集』[1938年～1966年]
- 『病院外来診療：診療と機能』[1935年～1964年]
- 『公衆医療——一般』[1931年～1953年]
- 『アメリカ公衆福祉協会』[1939年, 1940年, 1946年, 1950年]
- 『アメリカ公衆福祉協会：一般報告書・研究』[1937年～1965年]
- 『アメリカ公衆衛生協会』[1933年～1965年]
- 『公衆衛生——法的側面』[1961年～1966年]
- 『退役軍人庁：医療』[1945年～1956年]
- 『人口統計：一般：パンフレット集』[1937年～1966年]
- 『人口統計：健康の現状』[1930年～1945年]
- 『人口統計：死因』[1948年～1966年]
- 『人口統計：幼児死亡率』[1917年～1966年]
- 『高齢者の健康問題』[1951年]
- 『全国健康保険法制：高齢者特別委員会』[1963年～1966年]

シリーズ3：医療法制と医療の法的側面

- 『全国健康保険法制：カー＝ミルズ法の下での州・連邦プログラム』[1961年～1964年]
- 『全国健康保険法制：カー＝ミルズ法以外の州プログラム』[1957年～1961年]
- 『全国健康保険法制：ワグナー＝マレー＝ディンゲル法案：医療法案の分析』[1948年～1949年]
- 『全国健康保険法制：ワグナー＝マレー＝ディンゲル法案：連邦議会議事録抄録』[1949年]
- 『全国健康保険法制：ワグナー＝マレー＝ディンゲル法案：公聴会議事録』[1949年]
- 『全国健康保険法制：ワグナー＝マレー＝ディンゲル法案』[1947年]
- 『全国健康保険法制：全国健康保険パンフレット集』[1946年～1948年]
- 『全国健康保険法制：大統領教書』[1945年～1950年]

- 『全国健康保険法制：フランダース＝ハーター法案』[1949年～1970年]
- 『全国健康保険法制：分析、比較、公聴会』[1935年～1957年]
- 『全国健康保険法制：フォーランド議員の声明』[1958年～1959年]
- 『全国保健法制：病院調査・建設法(ヒル＝バートン法)：1945年母子福祉法』[1945年]
- 『全国保健法制：病院調査・建設法(ヒル＝バートン法) 進捗報告』[1947年～1948年]
- 『全国保健法制：病院調査・建設法(ヒル＝バートン法)：1947年特別法案』[1947年]
- 『全国保健法制：病院調査・建設法(ヒル＝バートン法)：全米科学財団法案』[1945年～1948年]
- 『全国保健法制：病院調査・建設法(ヒル＝バートン法) 連邦病院支援法』[1945年]
- 『全国保健法制：病院調査・建設法(ヒル＝バートン法) 農村保健法案草案・覚書』[1947年]
- 『全国保健法制：病院調査・建設法(ヒル＝バートン法) 1949年公衆福祉法』[1949年]
- 『全国保健法制：病院調査・建設法(ヒル＝バートン法)と病院評議会』[1943年～1949年]
- 『全国保健法制：病院調査・建設法(ヒル＝バートン法)：分析と記事切抜き』[1941年～1951年]
- 『全国保健法制：病院調査・建設法(ヒル＝バートン法)：全国保健法』[1947年～1949年]
- 『全国保健法制：病院調査・建設法(ヒル＝バートン法)：公衆医療法』[1944年]
- 『全国保健法制：病院調査・建設法(ヒル＝バートン法)：全国社会保険』[1947年～1949年]
- 『全国保健法制：病院調査・建設法(ヒル＝バートン法)：1940年全国病院法』[1940年]
- 『全国保健法制：病院調査・建設法(ヒル＝バートン法)：1947年医療支援法』[1947年]
- 『全国保健法制：保健と医学教育』[1946年～1949年]
- 『全国保健法制：1950年以前の法制：医療サービス計画州授權法』[1950年]
- 『全国保健法制：1950年以前の法制：連邦政府職員向け医療サービス』[1946年～1948年]
- 『全国保健法制：1950年以降の法制：社会保障法修正』[1955年～1956年]
- 『全国保健法制：1950年以降の法制：アイゼンハワー政権プログラム』[1954年]
- 『全国保健法制：1950年以降の法制：アイゼンハワー政権の保健に関する提案』[1954年]
- 『全国保健法制：1947年学校保健サービス法』[1947年]
- 『全国保健法制：1949年全米精神衛生法』[1949年]
- 『全国保健法制：ケネディ政権プログラム』[1963年]
- 『全国保健法制：ジョンソン政権プログラム』[1964年]
- 『全国健康保険法制：ワグナー法案をめぐるプロパガンダ』[1943年]
- 『公的扶助・児童福祉法制』[1962年]
- 『精神衛生法制』[1945年～1962年]
- 『州法制：州授權法：摘要』[1944年～1959年]
- 『病院の法的側面：病院と医療の実務』[1955年]
- 『病院の法的側面：ヒル＝バートン病院調査・建設法』[1944年～1966年]

シリーズ4：医療団体

- 『一般団体：アメリカ退役軍人委員会』[1948年～1954年]
- 『一般団体：全米保健連盟』[1955年～1961年]
- 『一般団体：合衆国商工会議所』[1950年～1953年]
- 『一般団体：アメリカ社会保障協会』[1937年～1944年]
- 『一般団体：公共問題委員会』[1938年～1945年]
- 『一般団体：立憲政府委員会』[1941年～1951年]
- 『一般団体：経済安全保障研究協議会』[1949年～1953年]
- 『一般団体：全米黒人女性協議会』[1946年～1948年]
- 『一般団体：ニューヨーク福祉協議会』[1934年～1941年]
- 『一般団体：アメリカ労働法制協会』[1941年～1943年]
- 『一般団体：アメリカン・リージョン』[1946年～1954年]

- ・『一般団体：全米精神衛生委員会』[1938年～1939年]
- ・『一般団体：アメリカ医科大学協会』[1963年]
- ・『職能団体：全米ソーシャルワーカー協会』[1946年～1950年]
- ・『職能団体：全米ソーシャルワーク会議』[1936年～1940年]
- ・『職能団体：全米弁護士ギルド』[1938年～1944年]
- ・『職能団体：アメリカ社会学会』[1963年]
- ・『職能団体：アメリカ科学振興協会』[1948年]
- ・『職能団体：全米看護教育連盟』[1945年～1946年]
- ・『政治団体：アメリカ労働党』[1938年～1945年]
- ・『政治団体：共和党全国委員会』[1948年～1952年]
- ・『政治団体：民主党全国委員会』[1947年，1949年～1952年]
- ・『国際団体：国際病院連盟』[1948年～1949年]
- ・『国際団体：世界保健機関』[1946年～1954年]
- ・『国際団体：世界労働機関』[1941年～1945年]
- ・『国際団体：世界労働組合連盟』[1952年～1953年]
- ・『国際団体：精神衛生国際会議』[1948年～1949年]
- ・『国民保健委員会：執行委員：ジョン・イーデルマン』[1949年～1955年]
- ・『国民保健委員会：執行委員：メアリー・ダブリン・カイザーリング』[1950年～1955年]
- ・『国民保健委員会：執行委員：フランク・ファーステンバーグ』[1950年～1955年]
- ・『国民保健委員会：執行委員：セオドア・サンダース』[1949年～1952年]
- ・『国民保健委員会：執行委員：マイケル・デイヴィス』[1948年～1955年]
- ・『国民保健委員会：執行委員：エリック・ピーターソン』[1949年～1956年]
- ・『国民保健委員会：執行委員：モリス・ルウェリン・クック』[1949年～1955年]
- ・『国民保健委員会：執行委員：キャサリン・エリクソン(CIO)』[1950年～1955年]
- ・『国民保健委員会：執行委員：ボリス・シシュキン(AFL)』[1951年～1956年]
- ・『国民保健委員会：研究資料：西欧の健康保険』[1947年]
- ・『国民保健委員会：起源』[1942年～1946年]
- ・『医療経済学研究委員会：議事録』[1936年～1944年]
- ・『医療経済学研究委員会：プロジェクト：農村の病院のニーズ』[1935年～1937年]
- ・『医療経済学研究委員会：プロジェクト：病気のコスト：糖尿病』[1936年～1938年]
- ・『医療経済学研究委員会：医学経済学の教育』[1931年～1938年]
- ・『アメリカ医師会以外の医学系団体：医師フォーラム』[1943年～1946年]
- ・『アメリカ医師会以外の医学系団体：アメリカ外科医科大学』[1951年～1953年]
- ・『アメリカ医師会以外の医学系団体：アメリカ放射線医科大学』[1951年～1953年]
- ・『アメリカ医師会以外の医学系団体：医療改善のための医師委員会』[1938年～1959年]
- ・『アメリカ医師会以外の医学系団体：連邦医療サービス改善のための全国医師委員会』[1951年～1952年]
- ・『アメリカ医師会以外の医学系団体：有色人種系医師独立委員会』[1947年]
ほか 合計490件のファイルを取録
- ・『ビバレッジ以前のイギリス：イギリス計画のコスト』[1948年～1951年]
- ・『ビバレッジ以前のイギリス：国民保健サービス法のコスト』[1949年～1956年]
- ・『ビバレッジ以前のイギリス：パンフレット集』[1950年～1954年]
- ・『ビバレッジ以前のイギリス：イギリス情報部』[1947年～1958年]
- ・『ビバレッジ以前のイギリス：実務家の論評』[1945年～1948年]
- ・『ビバレッジ以前のイギリス：『ブリティッシュ・メディカル・ジャーナル』』[1941年～1943年]
- ・『ビバレッジ以前のイギリス：医療系人員の動員』[1943年]
- ・『ビバレッジ以前のイギリス：国民保健サービスの経験』[1950年～1965年]
- ・『ビバレッジ以前のイギリス：相談員と専門員』[1945年～1949年]
- ・『ビバレッジ以前のイギリス：国王エドワード病院基金』[1948年]
- ・『ビバレッジ以前のイギリス：民主的行動連合の論評』[1948年]
- ・『ビバレッジ以前のイギリス：精神衛生サービス』[1945年～1948年]
- ・『スコットランド：国民健康保険』[1935年～1948年]
- ・『スコットランド：保健省』[1944年]
- ・『国民保健サービス論争：保健計画に関するイギリスの出版物』[1949年～1961年]
- ・『国民保健サービス論争：保守党の立ち位置』[1947年～1952年]
- ・『国民保健サービス論争：イギリス医師会』[1943年～1949年]
- ・『国民保健サービス論争：イギリス医師会 —— ベヴァン保健相との対立』[1946年～1949年]
- ・『国民保健サービス論争：イギリスの医師の意見』[1948年～1954年]
- ・『国民保健サービス論争：社会保障』[1943年～1948年]
- ・『国民保健サービス論争：任意拠出スキーム』[1947年～1954年]
- ・『国民保健サービス論争：国民保健サービスに関する労働党』[1950年]
- ・『国民保健サービス論争：イギリスの新聞と雑誌における論評』[1946年～1948年]
- ・『国民保健サービス論争：アメリカにおける論評と記事』[1946年～1950年]
- ・『国民保健サービス論争：イギリスの計画とアメリカの提案の比較』[1949年]
- ・『国民保健サービス論争：アメリカにおける報道全般』[1949年～1952年]
- ・『国民保健サービス論争：アメリカにおける好意的報道』[1947年～1961年]
- ・『国民保健サービス論争：アメリカにおける敵対的報道』[1948年～1955年]
- ・『国民保健サービス論争：アメリカの論評』[1951年～1956年]
- ・『外国の健康保険：社会保険・社会保障国際会議』[1952年～1953年]
- ・『アイルランド：1953年アイルランド保健法』[1953年]
- ・『アイルランド：保健サービス法案』[1947年～1948年]
- ・『カナダ：パンフレット集』[1934年～1965年]
- ・『カナダ：報告書集』[1919年～1938年，1943年～1944年，1949年～1957年]
- ・『カナダ：カナダにおける病院医療保険』[1962年～1965年]
- ・『カナダ：医療と公衆衛生サービスの分配』[1938年～1939年]
- ・『カナダ：カナダ福祉協議会』[1951年～1952年]
- ・『オーストラリア』[1930年～1952年]
- ・『ニュージーランド』[1918年～1948年]
- ・『イギリス以外のヨーロッパ：デンマーク』[1931年～1958年]
- ・『イギリス以外のヨーロッパ：ドイツ』[1913年～1949年]
- ・『イギリス以外のヨーロッパ：フランス』[1936年～1948年]
- ・『イギリス以外のヨーロッパ：スウェーデン』[1944年～1964年]
- ・『イギリス以外のヨーロッパ：ノルウェー』[1949年]
- ・『イギリス以外のヨーロッパ：ソ連』[1942年～1965年]
- ・『イギリス以外のヨーロッパ：ヨーロッパ全般』[1938年～1963年]
- ・『イギリス以外のヨーロッパ：種々のヨーロッパ諸国』[1937年～1966年]
- ・『アジアとアフリカ：リベリア』[1948年]
- ・『アジアとアフリカ：南アフリカ』[1944年～1948年]
- ・『アジアとアフリカ：シリア』[1934年]
- ・『アジアとアフリカ：イスラエル』[1946年～1956年]
- ・『アジアとアフリカ：日本 —— 社会保障使節団報告』[1947年]

シリーズ5：外国における医療

- ・『ビバレッジ以前のイギリス：パンフレット集』[1920年～1952年]
- ・『ビバレッジ以前のイギリス：任意拠出制』[1936年～1944年]
- ・『ビバレッジ以前のイギリス：任意病院保険』[1934年～1951年]
- ・『ビバレッジ以前のイギリス：イギリス医師会 —— 拡大医療サービスの提案』[1930年～1947年]
- ・『ビバレッジ以後のイギリス：イギリスにおける資産調査』[1948年]
- ・『ビバレッジ以後のイギリス：結核』[1947年]
- ・『ビバレッジ以後のイギリス：医学教育 —— グッドイナップ報告』[1944年～1948年]
- ・『ビバレッジ以後のイギリス：法制と規制』[1943年～1949年]

- ・『アジアとアフリカ：日本』[1937年～1964年]
 - ・『アジアとアフリカ：中国』[1964年]
 - ・『アジアとアフリカ：インド』[1948年]
 - ・『アジアとアフリカ：東インド』[1942年]
 - ・『ラテンアメリカとプエルト・リコ：全般』[1941年～1965年]
 - ・『ラテンアメリカとプエルト・リコ：メキシコ』[1945年～1947年]
- ほか合計180件のファイルを収録

シリーズ6：人物

- ・『アーサー・J.アルトマイヤー』[1943年～1956年]
- ・『ハリー・ベッカー』[1950年～1953年]
- ・『ジョージ・P.ベリー（ハーバード大学医科大学大学院院長）』[1951年～1955年]
- ・『ドワイト・D.アイゼンハワー』[1951年～1953年]
- ・『オスカー・エウイング：演説』[1946年～1951年]
- ・『ヘレン・ホール』[1921年～1963年]
- ・『S.S.ゴールドウォーター』[1945年]
- ・『I.S.フォーク』[1938年, 1943年～1954年]
- ・『ハーサ・クラウス教授』[1895年～1943年]
- ・『クロード・W.マンガー』[1945年～1948年]
- ・『チャニング・フロシנגラム』[1947年～1959年]
- ・『チャールズ・ゴードン・ハイド』[1936年～1941年]
- ・『レオナード・W.メイヨー教授』[1941年～1949年]
- ・『エリン・アンダーソン』[1945年～1947年]
- ・『イーヴリン・M.バーンズ教授』[1958年]
- ・『クレイグ・バーンズ』[1951年～1952年]
- ・『ハーワード大学ソーシャルワーク大学院』[1945年～1955年]
- ・『アルバート・D.ラスカー夫妻』[1947年]
- ・『アルバート・D.ラスカー』[1947年～1951年]

- ・『ヘンリー・A.ウォーレス』[1948年]
 - ・『ロバート・F.ワグナー上院議員』[1944年～1946年]
 - ・『アンドリュー・ビエミラー：演説』[1949年～1950年]
- ほか合計約320件のファイルを収録

シリーズ7：付録

- ・『健康保険パンフレット集』[1911年～1949年]
 - ・『ニューヨーク市医療サービス調査表』[1928年～1929年]
 - ・『医療サービスの費用』[1926年～1927年]
 - ・『マイケル・M.デイヴィスの研究』[1929年～1930年]
- ほか合計10件のファイルを収録

※シリーズ外の資料として、以下のファイルも収録されています。

- ・『国家の医療あるいは社会主義医療』[1934年～1936年]
- ・『医療計画』[1930年～1936年]
- ・『イギリス国民健康保険』[刊行年不明]
- ・『健康保険をめぐる初期の扇動』[1915年～1920年]
- ・『医療サービスの諸問題』[1924年～1936年]
- ・『医療費』[1931年～1936年]
- ・『保健と大恐慌』[刊行年不明]
- ・『病院』[1920年～1936年]
- ・『公衆衛生』[1928年～1936年]
- ・『健康保険』[1930年～1936年]
- ・『医療という職業』[1934年～1936年]
- ・『報酬』[1924年～1933年]
- ・『医療救護』[1932年～1936年]
- ・『ジュリアス・ローゼンウォルド基金発行医療パンフレット集』[1931年～1937年]

The Committee on Public Health of the New York Academy of Medicine: Correspondence, Reports, and Documents (ニューヨーク医学アカデミー公衆衛生委員会：書簡・報告書・文書集)

※以下のタイトルは刊行物名ではなく、ファイル名です。各ファイルの中に各種パンフレットが集められています。

《収録ファイル名の一部》

- ・『ニューヨーク医学アカデミー公衆衛生委員会議事録』[1911年～1993年]
- ・『年報』[1958年～1987年, 欠号年あり]
- ・『合衆国公衆衛生局』[1925年～1928年]
- ・『公衆衛生：教育』[1913年～1922年]
- ・『臨床検査センター：書簡』[1933年～1940年, 1954年～1958年]
- ・『臨床検査センター：議事録』[1954年～1962年]
- ・『臨床検査センター：覚書』[1954年～1958年]
- ・『大気汚染』[1913年～1927年, 1930年～1934年, 1964年～1974年]
- ・『環境衛生小委員会』[1979年～1980年]
- ・『慢性疾患』[1914年～1933年, 1953年～1954年]
- ・『依存症：アルコール依存』[1946年～1952年]
- ・『依存症：薬物依存』[1913年～1940年, 1953年～1967年]
- ・『東ハーレム保健センター』[1922年～1931年]
- ・『ハーレム病院』[1932年～1934年]
- ・『食品添加物』[1951年～1957年]
- ・『ミルク』[1912年～1919年, 1925年～1935年, 1939年～1940年]
- ・『インフルエンザ』[1918年～1919年, 1927年, 1929年]
- ・『病院：伝染病』[1923年～1927年]
- ・『アレルギー』[1928年～1930年]
- ・『心臓病』[1915年～1927年]
- ・『癌』[1915年～1933年]
- ・『保健センター：書簡集』[1922年～1933年]
- ・『血液バンク』[1946年～1949年, 1954年～1957年]
- ・『看護：教育』[1911年～1926年, 1950年～1952年]
- ・『産児制限』[1920年～1930年, 1957年～1964年]
- ・『コミュニティ医療』[1937年～1945年]
- ・『産業医学』[1914年～1932年, 1941年～1942年]
- ・『ニューヨーク市保健局：児童衛生部』[1923年～1926年]
- ・『ニューヨーク市保健局：再編』[1918年～1919年]
- ・『ニューヨーク市保健局：予算』[1937年～1947年]
- ・『ニューヨーク市保健局：検査官』[1915年～1926年, 1934年～1956年]
- ・『ニューヨーク市保健局：検査官、出生証明書』[1939年～1949年]
- ・『ニューヨーク市保健局：検査官、死因、報告』[1943年～1948年]
- ・『ニューヨーク市保健局：産業衛生部』[1919年～1925年]
- ・『ニューヨーク市検死局』[1917年～1921年, 1926年～1933年, 1950年～1960年]
- ・『ニューヨーク市衛生条例：改正』[1948年～1952年, 1956年～1958年]
- ・『精神衛生』[1927年～1934年]
- ・『精神衛生：病院』[1948年～1949年]
- ・『精神衛生：法制』[1943年～1950年]
- ・『精神衛生：精神遅滞』[1912年, 1915年, 1919年～1922年]
- ・『優生学会議』[1936年～1938年]
- ・『アルフレッド・C.キンゼイ』[1953年～1954年]
- ・『ホモセクシュアリティ』[1963年～1973年]
- ・『性病』[1909年～1919年, 1962年～1967年]
- ・『性犯罪』[1920年～1927年, 1935年～1950年]
- ・『少年犯罪』[1943年～1954年]
- ・『児童虐待』[1970年～1973年]

Selected Publications on Public Health from the New York Academy of Medicine (ニューヨーク医学アカデミー公衆衛生関係刊行物選集)

※以下のタイトルは刊行物名ではなく、ファイル名です。各ファイルの中に各種パンフレットが集められています。

《収録ファイル名の一部》

《公衆衛生》

- ・チャールズ・バックingham
『個人の衛生と公衆衛生に影響を与える環境』[1848年]
- ・ヘンリー・ペローズ『合衆国衛生委員会』[1872年?]
- ・エドワード・カスウェル『公衆衛生』[1880年]
- ・ジョン・ショー・ピリングス『公衆衛生と地方自治政府』[1891年]
- ・M.H.ウィルコクソン『公衆衛生に対する陰謀と国民の健康に関する100人委員会の組織の素描』[1909年?]
- ・アール・ゴドフリー・ブラウン『公衆衛生業務の経済的価値』[1928年]

《健康保険》

- ・アメリカ労働法制協会『健康保険法制の傾向』[1916年]
- ・キングズ郡専門職ギルド『強制健康保険の脅威』[1919年]
- ・T.S.ニューマン、A.G.リー『国民健康保険ガイド』[1925年]
- ・ヘレン・ペーカー他『グループ健康保険と病気手当プラン』[1945年]
- ・アーネスト・P.ボアス
『倫理的フロンティア：なぜ国民健康保険が必要なのか』[1946年]
- ・アレクサンダー・ブランシュウィグ他
『健康保険：公的か民間か』[1947年]
- ・ジョージ・ヘンリー・スール『健康保険の費用』[1949年]
- ・ラジオタウンミーティング『強制的国民健康保険プログラムは採用しなければならないのか』[1949年]
- ・ドロシー・トンブソン『強制的健康保険(社会主義医療)：誤った方向への一歩』[1949年?]
- ・アメリカ医師協会『強制的健康保険』[1953年?]
- ・アメリカ医師会『任意型健康保険の成長』[1954年]
- ・アメリカ医師会
『任意型健康保険に対する医師の態度調査概要』[1956年?]
- ・オディン・W.アンダーソン『今日の健康保険の要諦』[1960年]
- ・ルイス・シュルツ・リード他『独立健康保険プラン』[1966年]
- ・ルイス・シュルツ・リード『合衆国における健康保険団体の財政』[1966年]

《精神障害》

- ・アメリカ障害協会『精神障害者施設用統計便覧』[刊行年不明]
- ・ジョージ・ピアード
『なぜ我々は全米精神障害者保護協会を必要とするのか』[1880年]
- ・ホレス・ウェザーリル『精神障害者と精神障害者保護施設』[1892年]
- ・H.E.アリソン『ニューヨーク州における精神障害刑事犯のケア』[1894年]
- ・クリフォード・ピアース『精神障害者のアフターケア』[1909年]
- ・パトリシア・シャイドマンデル『精神疾患のための健康保険』[1968年]

《優生学》

- ・アメリカ優生学協会『問答式優生学入門』[1926年]
- ・アメリカ優生学協会『合衆国のための優生学プログラム』[1926年]
- ・レイモンド・パウル『優生学の現状』[1928年]
- ・ジョン・ヘンドレン・ベル『優生学的不妊治療』[1929年]
- ・ジョン・ヘンドレン・ベル
『優生学的制限と生と生殖の科学に対する関係』[1931年]
- ・C.J.ボンド『優生学、その意味と目的』[1931年]
- ・アメリカ優生学協会『アメリカの優生学』[1936年]

《出生・産児制限・妊娠中絶》

- ・ラルフ・ウォールド『妊娠中絶の手術』[1891年]
- ・『健康な子供を産みたい母親への指針』[1914年?]
- ・アメリカ産児制限連盟『アメリカ産児制限連盟の原理と目的』[1921年]
- ・マーガレット・サンガー『産児制限の倫理』[1921年]
- ・マーガレット・サンガー『女性、倫理、産児制限』[1922年]
- ・ドロシー・ボッカー『産児制限の方法』[1924年]
- ・ドミニク・ブルマー『産児制限』[1933年]
- ・マーガレット・サンガー『時代の経過の中での産児制限』[1942年]
- ・ウィリアム・ジョセフ・ロビンソン『産児制限の技法』[1953年]
- ・ウィリアム・ジョセフ・ロビンソン『産児制限と安全な時期』[1953年]
- ・ノーマン・セント・ジョン＝スティューヴァス『産児制限と公共政策』[1960年]

- ・M.P.ダウリング『人種自滅と産児制限』[刊行年不明]
- ・アメリカ産児制限連盟『産児制限に関する偉大な思想』[刊行年不明]

《乳幼児児童ケア》

- ・モーネイ・ウィリアムズ『放置される児童期』[1914年]
- ・アメリカ乳幼児死亡研究・防止協会『乳児のケア』[1916年]
- ・マリー・ストーブス『乳児と不安』[1918年?]
- ・アンドリュー・ボグダン『児童期における成長と発育』[1962年]

《学校衛生》

- ・アメリカ学校衛生協会『学童の健康』[1883年]
- ・サミュエル・ウッドブリッジ『校舎の暖房と換気の計画』[1892年]
- ・A.ジェイコビー『結核と児童』[1903年]
- ・ジョン・ウィルバー『公立学校の教室は病気を蔓延の大元か』[1910年?]
- ・ジョン・パーコウィッツ『学童の視力』[1920年]
- ・ハリエット・ウェッジウッド『補修学校における健康増進』[1924年]
- ・ガートルード・ロビンソン『教科書での薬物教育の取扱』[1928年]
- ・クララ・バセット『学校と精神衛生』[1931年]
- ・ホワイトハウス児童衛生保護会議『学校衛生プログラムの行政』[1932年]
- ・ジョン・ボッツ『学童のための結核入門』[1941年]
- ・アメリカ心臓協会『学校生活における心臓病』[1945年]
- ・ベティ・スティール他『学童の栄養』[1952年]

《児童労働》

- ・アーネスト・プール『児童労働——街頭』[1903年?]
- ・タルコット・ウィリアムズ『児童労働と繊維工場』[1906年]
- ・ジェイムズ・プリトン『児童労働と少年司法』[1909年]

《喫煙・アルコール依存・薬物依存》

- ・アイザック・クインビー『アルコール性刺激物の病理学的作用』[1883年]
- ・アンドリュー・スミス『病気の発症に対するアルコールの影響』[1886年]
- ・ウィリアム・ウェルチ『アルコールの病理学的影響』[1900年?]
- ・フレデリック・ピーターソン『アルコールの公衆衛生に対する影響』[1908年]
- ・W.R.ウォーレス『薬物依存の近年の概念』[1918年]
- ・アメリカ医師協会『合衆国における麻薬の現状』[1920年]
- ・サラ・グラハム＝ムルホール『薬物依存シンポジウム』[1920年]
- ・反薬物連盟『薬物と医師』[1938年]
- ・ヴィクター・ヒュー・フォーゲル他『薬物に関する事実』[1951年]
- ・ノースウェスタン大学『アルコール依存は防止できるか』[1951年]
- ・アメリカ癌協会『喫煙か禁煙か』[1958年]
- ・チャールズ・ウィニック『薬物依存の問題』[1962年]
- ・アメリカ癌協会『喫煙と癌』[1963年]
- ・アメリカ心臓協会『喫煙と心臓病』[1964年]
- ・全米精神衛生研究所
『アメリカインディアンにおける自殺、殺人、アルコール依存』[1973年]

《性衛生・性教育》

- ・アメリカ衛生・道徳予防協会『性の生理学と衛生学教程』[1908年]
- ・モーリス・E.ビゲロー『社会教育の一環としての性教育』[1913年]
- ・アメリカ衛生・道徳予防協会『性衛生における教育の必要』[1913年]
- ・キャサリン・ビメント・デイヴィス他
『通常の既婚女性の性生活の研究』[1923年]
- ・ウィリアム・ロスコー・タッカー
『産む子どもの性別をあなたは選びたいですか』[1925年]
- ・トマス・デニソン・ウッド他『教師と親のための性教育ガイド』[1937年]
- ・アイラ・ソロモン・ワイル『個人と社会の衛生の観点からみた性』[1941年]
- ・P.J.ブルックナー『性教育の方法』[1945年]
- ・アメリカ小児科学会『性教育読本』[1960年]

《軍事衛生》

- ・フレデリック・ロバーツ『軍事衛生、とりわけ兵士の衣類に関して』[1844年]
- ・アルフレッド・チャールズ・ポスト『軍事衛生と治療の報告』[1863年]
- ・『戦争における衛生、医療、外科手術の経験』[1865年]
- ・ピアース・ベイリー『兵士の精神障害者のケアと配置』[1918年]



すべてのコンテンツと機能をお試しいただける1ヶ月の無料トライアルをご提供しております。

商品に関するお問い合わせは、センゲージラーニング株式会社までお願いします。

Tel : 03-3511-4390 E-mail : GaleJapan@cengage.com URL : www.gale.com/jp